

## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																															
穴吹デザイン専門学校	平成3年3月29日	尾崎 隆一 (住所) 広島県広島市南区松川町2-24 (電話) 082-263-7177																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人穴吹学園	昭和25年12月16日	穴吹 薫 (住所) 広島県福山市東町2-3-6 (電話) 084-931-3325																																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																													
工業	工業専門課程	マンガ・アニメーション学科	平成19(2007)年度	-	平成26(2014)年度																													
学科の目的	業界と連携した課題を通して、作家・アニメーターとして通用する技術力とコミュニケーション力を兼ね備えた人材を育てる。																																	
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能な資格: Illustratorクリエイター能力認定試験スタンダード																																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																												
2年	昼間 ※単位時間、単位いずれかに記入	1,700 単位時間	190 単位時間	1,510 単位時間	0 単位時間	0 単位時間																												
		62 単位	12 単位	50 単位	0 単位	0 単位																												
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率	就職等の状況																													
70 人	70 人	0 人	0 %	6 %																														
就職等の状況	■卒業者数(C) : 29 人																																	
	■就職希望者数(D) : 26 人																																	
	■就職者数(E) : 26 人																																	
	■地元就職者数(F) : 23 人																																	
	■就職率(E/D) : 100 %																																	
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 88 %																																	
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 90 %																																	
	■進学者数 : 0 人																																	
	■その他																																	
	(令和 6 年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)																																	
■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) 広島市役所、マツダ株、ダイキヨーニシカワ株																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載																																	
当該学科のホームページURL	評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL <a href="https://web.anabukih.ac.jp/course/nd/">https://web.anabukih.ac.jp/course/nd/</a>																																	
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A : 単位時間による算定) <table border="1"> <tr> <td>総授業時数</td> <td>1,700 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td> <td>0 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td> <td>270 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち必修授業時数</td> <td>885 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td> <td>0 単位時間</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td> <td>60 単位時間</td> </tr> <tr> <td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td> <td>0 単位時間</td> </tr> </table> (B : 単位数による算定) <table border="1"> <tr> <td>総単位数</td> <td>62 単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td> <td>0 単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した演習の単位数</td> <td>9 単位</td> </tr> <tr> <td>うち必修単位数</td> <td>2 単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td> <td>0 単位</td> </tr> <tr> <td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td> <td>2 単位</td> </tr> <tr> <td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td> <td>0 単位</td> </tr> </table>						総授業時数	1,700 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	270 単位時間	うち必修授業時数	885 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	60 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間	総単位数	62 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した演習の単位数	9 単位	うち必修単位数	2 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	2 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位
総授業時数	1,700 単位時間																																	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間																																	
うち企業等と連携した演習の授業時数	270 単位時間																																	
うち必修授業時数	885 単位時間																																	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間																																	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	60 単位時間																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間																																	
総単位数	62 単位																																	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位																																	
うち企業等と連携した演習の単位数	9 単位																																	
うち必修単位数	2 単位																																	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位																																	
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	2 単位																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位																																	
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td>0 人</td> </tr> </table>						① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1 人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計	3 人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	0 人														
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1 人																																	
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人																																	
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																																	
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																																	
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																																	
計	3 人																																	
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	0 人																																	

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・授業課題(演習)内容について、専門性はもちろんのこと、時代性を反映させるため
- ・演習授業を通して、実社会で必要とされる社会性を身に付けさせるため現役で実務に携わる企業の職員に直接授業を受け持つもらう

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成・授業科目の内容・方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、業界団体・企業等からの意見・要望を伺う。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望に基づき改善案を教務部で検討し来期カリキュラムを策定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
石川 貴大	株式会社 ネストハウス 代表取締役社長	令和7年10月1日～令和8年9月30日(1年)	③
川上 佳代	有限会社 コンセプトワーク 代表取締役	令和7年10月1日～令和8年9月30日(1年)	③
柴崎 達史	株式会社 スペースコンフォート 代表取締役	令和7年10月1日～令和8年9月30日(1年)	③
高橋 伸幸	ナツツデザインスタジオ 代表	令和7年10月1日～令和8年9月30日(1年)	③
益村 泉月珠	広島アレヒ放送株式会社 地域ビジネス開発局 専門部長	令和7年10月1日～令和8年9月30日(1年)	③
三村 泰之	株式会社 講談社 月刊少年マガジン編集部 編集長	令和7年10月1日～令和8年9月30日(1年)	③
彌中 敏和	株式会社GKデザイン総研広島 代表取締役社長	令和7年10月1日～令和8年9月30日(1年)	③
田中 直美	穴吹デザイン専門学校 教務課長代理	令和7年10月1日～令和8年9月30日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (10月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年10月12日 10:00～12:00

第2回 令和7年1月17日 15:00～17:00

0

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①求める人材像:

漫画のストーリーの設定に、あえて制限をかけることで、キャラクターの会話劇のブラッシュアップに集中する。

②実践的な課題の取り組み:

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

専門分野において実務に携わる企業との連携により、学科の育成人材像の達成に向けて、授業科目内容、指導内容、授業運営、評価について協力を要請する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

年に4回、各授業担当講師(企業講師多数)を招集し、専門分野の最新状況と教育内容との微調整、情報交換を図り授業に活用している。非常勤講師の雇用契約条件に基づき講義・演習の実施、学修成果の評価を行っている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企 業 連携 の 方 法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
キャラクターデザイン1	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	マフカ原稿のアシタル機器・ソフトウェアを利用した仕上げの手法を学ぶ。	34address
キャラクターデザイン2	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	マンガ制作の仕上に重点を置いた授業。原稿を仕上げる経験を積み自己の作品のクオリティーを上げ	34address
アニメーション演習1	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	マンガ制作技術の全般を指導。投稿マンガの受賞を目標に、シナリオを分析・検討する。	スタジオみのる
アニメーション演習2	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	人の基本動作・動物の動作・動きの有る背景等、様々な動画の制作を実践する。	スタジオみのる
		ドローイングソフト・画像加工ソフトの応用操作を学び、デジタルのメリットを最大限活かしイラストを制	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学校は、教職員研修規定に則り、教員の業務経験や能力に応じて、新たに採用した教職員を対象とした研修、管理職教職員を対象とした研修、専門分野における実務に関する研修および学生指導力向上のための研修を計画的に実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	取材で得た情報の作品への落とし込み方	連携企業等:	株式会社講談社 月刊少年マガジン
------	--------------------	--------	------------------

期間:	令和7年1月17日(金)	対象:	チューター、教員
-----	--------------	-----	----------

内容	取材で得た情報を作品へ反映させるための指導方法を学ぶ
----	----------------------------

研修名:	0	連携企業等:	0
------	---	--------	---

期間:	0	対象:	0
-----	---	-----	---

内容	0
----	---

研修名:	0	連携企業等:	0
------	---	--------	---

期間:	0	対象:	0
-----	---	-----	---

内容	0
----	---

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	新人教員研修	連携企業等:	穴吹教育総合研究所
------	--------	--------	-----------

期間:	令和6年10月10日～11日	対象:	新人教員
-----	----------------	-----	------

内容	教員として必要な素養と心構え、授業技術の基本・クラス運営の方法について学ぶ
----	---------------------------------------

研修名:	非認知能力養成講座	連携企業等:	All HEROs合同会社
------	-----------	--------	---------------

期間:	令和6年8月23日	対象:	全教員
-----	-----------	-----	-----

内容	非認知能力を理解し、教育に反映させるための研修
----	-------------------------

研修名:	0	連携企業等:	0
------	---	--------	---

期間:	0	対象:	0
-----	---	-----	---

内容	0
----	---

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ストーリー作りの効果的指導法について	連携企業等:	株式会社講談社 月刊少年マガジン
期間:	令和8年1月16日(金)	対象:	チューター、教員
内容	設定に制限を設けた漫画のストーリー作りの指導法について		
研修名:	0	連携企業等:	0
期間:	0	対象:	0
内容	0		
研修名:	0	連携企業等:	0
期間:	0	対象:	0
内容	0		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	令和6年8月または3月	連携企業等:	穴吹教育総合研究所
期間:	令和7年8月25日～27日	対象:	全教員
内容	キャリアサポートー養成研修		
研修名:	非認知能力研修	連携企業等:	All HEROs合同会社
期間:	45849	対象:	全教員
内容	非認知能力を理解し、教育に反映させるための研修		
研修名:	0	連携企業等:	0
期間:	0	対象:	0
内容	0		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### （1）学校関係者評価の基本方針

- ①関係者ならではの視点で具体的かつ実践的な評価を受ける
  - ②自己点検評価の適正化、妥当性を客観的に評価する
  - ③結果として、職業に必要な実践的かつ専門的な能力がより修得できる改善計画を立案し、PDCAサイクルを回し続ける。

## (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか
(2)学校運営	運営会議が定期的に開催されているか
(3)教育活動	学校の年間スケジュールはあるか
(4)学修成果	学生の就職に対する目標を設定したか
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか
(6)教育環境	学校生活におけるリスクマネジメントとして保険に加入しているか
(7)学生の受け入れ募集	学校案内等には育成人材像が明示されているか
(8)財務	年度予算、中期計画は策定されているか
(9)法令等の遵守	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されて
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

### (3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校生活における学生満足感の向上について、学年を超えた授業構成の提案があり、学生同士の関係が広がるような仕組みを取り入れている。修了・卒業制作の合同講評会は実現したが、学生が主体的に運営するまでには至らず、今後の課題とする。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

不要員の性別欄には、学校機関  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

## (5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://web.anabukih.ac.jp/info/information/>

公表時期: 45945

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

継続的な教育の質向上を図ることを目的とし、情報提供の基本方針を以下のように定める。

・教育に関わる情報について、原則、公開する。

・定期的に更新し、最新の情報を提供するよう努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校名、所在地、学校の沿革、歴史学校の教育・人材養成の目標及び
(2)各学科等の教育	入学者に関する受入れの方針及び入学者数、収容定員、在学学生数
(3)教職員	教職員数(職名別)教職員の組織、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況実習・実技等の取組状況就学支援等への取
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況
(7)学生納付金・修学支援	生納付金の取扱い活用できる経済的支援措置の内容等
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://web.anabukih.ac.jp/info/information/>

公表時期: 45945

## 授業科目等の概要

#REF!	分類	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
						講義	演習	実習・実習・実習	校内	校外	専任	兼任
1	O	社会人基礎	学生の学習指導・生活指導・進路指導などを包括的に行う。進路決定に必要な、就職活動の技術指導および動機付けも並行して行う。	1通	##	3	O		O	O	O	
2	O	実践コミュニケーション1	挨拶・話し方・聴き方・敬語・など、他者とのコミュニケーションにおいて必要な知識を学び、実践する。	1通	60	4	O		O	O	O	
3	O	デザイン演習1	グラフィックデザインの基礎とDTPのワークフローを、実際の制作を通して学ぶ。印刷物の入稿データとして適正なものを制作する方法を習得する。	1通	##	4	O		O	O	O	
4	O	ドローイング1	透視図法を理解し、正しい物体・空間のフォルムや人物をバランスよく描く方法を学ぶ。また、質感・陰影の表現方法を学ぶ。	1通	##	4	O		O	O	O	
5	O	原画・背景画演習1	アニメーションの原画の作画方法・ベースに基づいたアニメーション背景の線画の描画方法を習得する。	1通	##	4	O		O	O	O	
6	O	マンガ演習1	マンガのシナリオ・演出の基礎を学ぶ。また、Gペンの使い方・バース・アイレベルなどのマンガを描く基礎技術を学ぶ。	1前	60	2	O		O	O	O	
7	O	アニメーション演習1	アニメーションの工程を知る事で、生体の流れを理解する。動く物体に対する観察力を養い、映像表現に結び付ける能力を基礎的な課題で習得する。動きを自分で想像して動画オーバーで再現する。(参考書)	1前	60	2	O		O	O	O	
8	O	デジタルコミック・イラスト演習	デジタルペイントソフトを使い、デジタルコミック・デジタルイラスト制作に必要な知識を習得する。	1通	##	4	O		O	O	O	
9	O	マンガ演習2	投稿を目標にマンガ原稿を制作する。プロット・キャラ表・ネームから原稿の仕上げまでを一貫して学ぶ。	1後	90	3	O		O	O	O	
10	O	アニメーション演習2	人・物の基本的な動きを知り、映像表現に結び付ける能力を実践的な課題で養う。絵コンテの読み方・描き方・映画の構成について理解することで、イメージした場面を絵コンテにて動画作成にて練成する。	1後	90	3	O		O	O	O	
11	O	イラスト演習1	ドローイングソフトの基本操作を学び、デジタルのメリットを最大限活かしイラストを制作する手法を学ぶ。	1後	90	3	O		O	O	O	
12	O	業界研究1	業界研究や進路相談など学生と相互に情報を共有する。	2前	15	1	O		O	O	O	
13	O	実践コミュニケーション2	ビジネス文書・メール等、文書ベースでのビジネスコミュニケーションに必要な知識を学び、実践する。	2前	30	2	O		O	O	O	
14	O	ドローイング2	制作活動に必要な、デッサン力・描画力を高める。	2前	60	2	O		O	O	O	
15	O	シナリオ・スクリプト原作概論	物語の組み立て方や表現方法を学ぶ。さらにもマンガ・アニメ・ゲームの分野に応用する手法を身につける。	2前	60	2	O		O	O	O	
16	O	デザイン演習2	印刷物制作でのティレクションの重要性を把握し、興味を持ち、印刷方法や仕組み、適正な印刷方法の為の知識を身に付ける。現在のDTP環境に合った様々な入稿方法を身につける。	2前	60	2	O		O	O	O	
17	O	デジタルコミック1	マンガ原稿のデジタル機器・ソフトウェアを利用した仕上げの手法を学ぶ。	2前	60	2	O		O	O	O	
18	O	上演習1	マンガ制作の仕上に重点を置いた授業。原稿を仕上げる経験を積み自己の作品のクオリティを上げる。	2前	60	2	O		O	O	O	
19	O	マンガ演習3	マンガ制作技術の全般を指導。投稿マンガの受賞を目標に、シナリオを分析・検討する。	2前	##	4	O		O	O	O	
20	O	原画・背景画演習2	アニメーションの原画の実践的な作画練習・ベースに基づいたアニメーション背景の線画の発展的な描画方法を習得する。	2前	60	2	O		O	O	O	
21	O	映像編集1	映像編集ソフトの基本操作を学び、オリジナルムービー制作を実践する。	2前	60	2	O		O	O	O	
22	O	アニメーション演習3	人の基本動作・動物の動作・動きの有る背景等、様々な動画の制作を実践する。	2前	##	4	O		O	O	O	
23	O	キャラクターデザイン1	アニメ・ゲーム・漫画はもとより、コミックイラストの枠にとらわれずオールジャンルのキャラクターデザイン案件をこなせる人材を育成する。ターゲットを意識した、キャラクターデザイン。	2前	60	2	O		O	O	O	
24	O	デジタル背景演習1	デジタルペイントで、目的に応じた指定の技法で背景を作成する方法を学ぶ。	2前	60	2	O		O	O	O	
25	O	イラスト演習2	ドローイングソフト・画像加工ソフトの応用操作を学び、デジタルのメリットを最大限活かしイラストを制作する手法を学ぶ。	2前	##	4	O		O	O	O	
26	O	業界研究2	業界研究や進路相談など学生と相互に情報を共有する。	2後	55	3	O		O	O	O	
27	O	実践コミュニケーション3	ビジネス文書・メール等、文書ベースでのビジネスコミュニケーションに必要な知識を学び、実践する。	2後	30	2	O		O	O	O	

28	○	ドローイング3	制作活動に必要な、デッサン力・描画力を高める。	2後	60	2	○	○	○	○
29	○	シナリオ・ネーム原作概論2	物語の組み立て方や表現方法を学ぶ。さらにマンガ・アニメ・ゲームの分野に応用する手法を身につける。	2後	60	2	○	○	○	○
30	○	デザイン演習3	印刷物制作でのタイレーン・ヨンの重要性を把握し、興味を持ち、印刷方法や仕組み、適正な印刷方法の為の知識を身に付ける。現在のDTP環境に合った様々な入稿方法を身に付ける。	2後	60	2	○	○	○	○
31	○	デジタルコミック2	マンガ原稿のデジタル機器・ソフトウェアを利用した仕上げの手法を学ぶ。	2後	60	2	○	○	○	○
32	○	仕上演習2	マンガ制作の仕上に重点を置いた授業。原稿を仕上げる経験を積み自己の作品のクオリティーを上げる。	2後	60	2	○	○	○	○
33	○	マンガ演習4	マンガ制作技術の全般を指導。投稿マンガの受賞を目標に、シナリオを分析・検討する。	2後	##	4	○	○	○	○
34	○	原画・背景画演習3	アニメーションの原画の実践的な作画練習・ベースに基づいたアニメーション背景の線画の発展的な描画方法を習得する。	2後	60	2	○	○	○	○
35	○	映像編集2	映像編集ソフトの基本操作を学び、オリジナルムービー制作を実践する。	2後	60	2	○	○	○	○
36	○	アニメーション演習4	人の基本動作・動物の動作・動きの有る背景等、様々な動画の制作を実践する。	2後	##	4	○	○	○	○
37	○	キャラクターデザイン2	横図をはじめとした、よりキャラクターの世界観を彩れる、高度な知識・技術の習得と、エフェクト・質感のテクニックを学ぶ。さらに、キャラクターの魅力・存在感などオカリを理解する。	2後	60	2	○	○	○	○
38	○	デジタル背景演習2	デジタルペイントで、目的に応じた指定の技法で背景を作成する方法を学ぶ。	2後	60	2	○	○	○	○
39	○	イラスト演習3	ドローイングソフト・画像加工ソフトの応用操作を学び、デジタルのメリットを最大限活かしイラストを制作する手法を学ぶ。	2後	##	4	○	○	○	○
40	○	企業実習	企業が募集するインターンシップ研修に合格した場合、企業内にて研修を受ける。	2後	##	17	○	○	○	○
41	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
42	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
43	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
44	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
45	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
46	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
47	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
48	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
49	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
50	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
51	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
52	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
53	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
54	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
55	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
56	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##
57	##	##	#REF!	#REF!	##	##	##	##	##	##

58	##	##	##	#REF!	#REF!		##	##	##	##	##	##	##	##	##				
59	##	##	##	#REF!	#REF!		##	##	##	##	##	##	##	##	##				
60	##	##	##	#REF!	#REF!		##	##	##	##	##	##	##	##	##				
合計						40	科目	3640 単位(単位時間)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等
卒業要件： 必修科目865単位時間、選択必修科目835単位時間修得する。	1学年の学期区分 2期
履修方法： 選択必修科目については、専攻ごとに定められた科目の内から選択す	1学期の授業期間 15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合  
については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。